

2025年8月13日
調査事業部 木村裕美

2025年7月30日に、東京都教育委員会所属の練馬区、港区の小・中学校の教員の方を対象とした研修において講師を務める機会を頂きました。この研修は、(株)INPEXが2019年から「教員の民間企業研修」に参画し、教員の受け入れを開始したことにより、毎年夏に実施しているものです。

当日は、「不安定化が続くエネルギー情勢」と題して60分のプレゼンを実施しました。エネルギー情勢に大きな影響を与え続けているウクライナ侵攻、パレスチナ紛争などの地政学的問題、さらにこれに追い打ちをかけた2025年1月のトランプ大統領の就任は様々な変化をもたらし、エネルギー安全保障のみならず、経済安全保障の重要性を再認識させられることとなりました。こうした環境下でのエネルギーの現状および、2050年のカーボンニュートラルに向けた日本の取組やINPEXの会社概要及び新たな取り組み、INPEX Vision2035などの紹介をさせて頂きました。エネルギー業界には直接関係のない教員の方たちですが、高い関心を寄せて耳を傾けて下さり、好評のうちに終了することができました。



今回の講演では、石油・天然ガスに関する一般的な知識やエネルギーの現状、気候変動問題などについて、また日本政府の取り組みなどエネルギー・トランジションの情報を共有し、エネルギーの重要性についてさらに理解を深めて頂けたことだと思います。この講演を通じて得られた情報を現場で活かしつつ、生徒にも伝えていきたいとの感想を多く頂くことができました。今回の講演を通じて、年々参加の先生方の関心が高まっている印象を受けました。

参加された教員からのコメント・質問をいくつかご紹介します。

- 講演で得られた情報等を現場で活かしながらエネルギー問題の重要性を生徒に伝えたい。
- 企業として経産省などが一緒に採掘するなど、国家が企業をとりまとめて事業をすることはないのか。
- 日本近海の石油・天然ガスの開発において進捗はあるのか。

SLTでは、こうした各方面の社会人研修の実施や、中学・高校・高専・大学との関係を深め、次世代教育・育成の活動に貢献することを目的とし、出張授業を積極的に展開して参ります。

以上